

令和7年度やまなしエコ通勤・エコ通学 トライアルウィーク 実施状況



1. 参加申し込み状況

申し込みと現在の通勤状況

申し込み	従業員数	マイカー通勤
19	6,033	4,738

- ・エコ通勤トライアルウィークへの参加申し込みのあった事業所数は19事業所。
- ・参加事業所に勤務する6,033人のうち4,738人(78.5%)が現在マイカーで通勤。

ステップ1 エコ通勤PR取り組み状況

メール等	掲示等	会議等	個別	その他
12	15	5	4	3

- ・PRの方法は、各事業所で、効果的な方法を選択してもらい、内訳は

「メール・イントラネットなどで案内」	12事業所
「掲示物・職場内回覧などで周知」	15事業所
「会議・朝礼などで呼びかけ」	5事業所
「マイカー通勤者に個別に働きかけ」	4事業所
その他（担当職員が各課等を訪問し呼びかけ）	3事業所

ステップ2 エコ通勤転換予定者数

徒歩	自転車	公共交通	その他	計
105	103	113	59	380

- ・期間中は参加事業所のマイカー通勤者4,738人のうち、380人(8.0%)がエコ通勤にチャレンジする予定。

- ・エコ通勤の種別ごとの転換者数は

「徒歩通勤にチャレンジ」	105人(27.6%)
「自転車通勤にチャレンジ」	103人(27.1%)
「公共交通通勤にチャレンジ」	113人(29.7%)
「その他のエコ通勤にチャレンジ」	59人(15.5%)
- ・「その他のエコ通勤」の59人は「マイカーによる乗り合わせ通勤」を実施予定。

ステップ3 ワンコインエコチケット配布数

チケット計	実人数
437	178

- ・配布対象者別内訳

	チケット	実人数
公共交通にチャレンジ	423	85
自転車通勤にチャレンジ	14	93
計	437	178

・昨年度に引き続き、自転車通勤にチャレンジする方に雨天対応用として1日分のエコチケットを配布。

期間中、1乗車100円で路線バスを利用可能な「ワンコインエコチケット」の配付枚数は437枚。

うち、バス通勤にチャレンジする方の分が423枚、自転車通勤にチャレンジする方の雨天のバス対応分が14枚

・エコチケットを配付する実人数は178人で、うちバス通勤にチャレンジする者が85名、自転車通勤にチャレンジする方が93名

2. 期間中の取り組み状況

バス事業者からのエコチケット利用状況

3月2日	13
3月3日	10
3月4日	10
3月5日	14
3月6日	13
3月7日	3
3月8日	6
合計	69

・期間中のワンコインエコチケットの利用数は枚で、配付数437枚の15.8%。

・エコチケット利用率が低かった。バスの時刻と合致しなかった、雨天使用目的の利用がなかったことが大きな要因と考えられる。

参加事業所からの実績報告

	徒歩	自転車	公共交通	その他	計
3月2日	75	66	29	22	192
3月3日	76	54	29	27	186
3月4日	79	64	29	32	204
3月5日	77	68	37	24	206
3月6日	72	72	33	40	217
3月7日	25	25	8	13	71
3月8日	19	24	8	5	56
合計	423	373	173	163	1,132

・期間中にエコ通勤に取り組んだと報告のあったのは延べ1,132回。

・参加申し込みのあった380人が、期間中に平均3.0回のエコ通勤を実施した。

参加者からの代表的な意見

○肯定的な感想

- ・最寄りのバス停以外に利用可能な通勤経路を発見できた。
- ・環境への負荷軽減の意識向上に繋がった。自転車通勤は良い運動になった。
- ・春の花々も咲きはじめ、気持ちよく通勤ができた。
- ・徒歩通勤時、近所の方とコミュニケーションがとれて、うれしかった。
- ・読書や景色を楽しむことができ、自分の時間として利用できた。
- ・自転車通勤の場合、どのくらいの時間がかかるか知ることができた。
- ・今回の企画は公共交通の良さを知る機会になり、利用するきっかけになった。
- ・いつもと違う風景を見ることができ、リフレッシュになった。
- ・通勤に係る時間がマイカーよりも短く、駅から歩くことで健康的である。
- ・公共交通機関を利用したことで、ガソリン代が削減できた。

○否定的な感想

- ・山梨県は公共交通の便が良くないので難しいと感じた。
- ・自転車通勤は上り坂が、きつい。
- ・職場の近くにバス停がない為、自家用車での通勤はやむを得ないと思った。
- ・この時期、花粉が大敵であった。

○参加理由

- ・朝の通勤ラッシュ時の渋滞を避け、快適に通勤する為。
- ・自転車に乗る習慣をつけるきっかけにする為。
- ・電車通勤の経験をしてみたかったこととその状況を見たかった。
- ・ガソリン代の削減と環境汚染への配慮の為。

○不参加理由

- ・バス運行ルートがない為、参加できなかった。次回、AIデマンド交通で参加したい。
- ・バスの本数が少なく、適切な時間に職場に到着できない。
- ・自宅から最寄り駅・バス停が遠い為、通勤時間が長くなってしまう。
- ・業務多忙の為、参加できなかった。

○転換への課題

- ・『公共交通を使わない⇒便が減る⇒不便⇒使わない』のループの解消・社会インフラの利用促進を考えるべき。
- ・バスの到着が渋滞状況により遅延することを考慮し、通勤に利用した方がよい。
- ・バスコンシェルジュは便利だが、不具合があり正確に使用できなかった。
- ・昨今、駐車場手当の支給があるという。エコ通勤推奨と反比例した動きになっている。
- ・退勤時間の18時以降に本数が少ないので、不便を感じる。
- ・マイカー通勤に比べ大幅に時間がかかり、利便性に欠ける。
- ・3月は多忙な業務が続く時期であり、エコ通勤を実施する余裕がない。
- ・自転車レーン、歩道・車道の拡幅の整備を進めてほしい。
- ・通勤の公共交通利用にポイントを付与するなど、工夫が必要と考える。

3. 参加事業所（※公表不可の事業所は除く）順不同

株式会社ふじでん
やまなし産業支援機構
山梨運輸支局
甲府市役所
都留市役所
大月市役所
韮崎市役所
北杜市役所
甲斐市役所
笛吹市役所
市川三郷町役場
鳴沢村役場
甲府市立東小学校
峡南林務環境事務所
山梨県立北杜高等学校
山梨県立都留高等学校
山梨県庁